

狙われてからでは遅い!!

鳥から果実を守れ!



1 エサ場を作らない!!

りんご等の果実はカラス・ヒヨドリ等ほか、増加しているアライグマやサル、クマにとっても魅力的なエサとなります。落果実は、放置せずに処分しましょう。

方法① 穴を掘って埋める

方法② 草刈り機で粉碎し、早期に腐熟させる



2 テグスを張る!!

効果がある方法ですが、テグスの張り方がポイントとなります。

方法① カラスの場合は、翼を広げた長さより狭い1m以内の間隔幅で張る。

方法② 設置は収穫直前(カラスに狙われる前)から収穫後までとする。

方法③ カラスは近くの止まり木や電柱等から侵入するので、そこを防ぐように設置する。

3 被害が大きい場合は、ネットを張る!!(小鳥系にも効果があります)

方法① 樹上全面に網を張る。

方法② 収穫前の木一本ずつを網で覆う(竹などの支柱2本の間ネットを張り、木を囲う。収穫終了後は、収穫前の他の木に移動させる。)

注意点 ネットを張る方法は、資材等の経費がかかるので、事前に経費を試算して被害に見合うかの検討が必要です。



《カラスに対する追払い器具類の使用について》

かかし、音声、CD吊るし、カラスの模型などの追払い器具は、鳥類に実害をもたらさないことから慣れて効果がなくなります。使用に際しては、追払い器具の設置場所、設置器具を定期的に変更して、前回と何かが違うとカラスに警戒させることが大切です。

相手を知ろう!! 鳥害・鳥に関してよくある誤解

☆鳥は人より目や耳がいい?

→よく「鳥目」で夜が見えないと言われますが、視覚・聴覚とも人と同程度です。

☆鳥が嫌う色がある?

→鳥は色を識別できるが、「本能的に」嫌う色はない。

☆鳥が本能的に嫌がる音がある?

→タカに対する警戒声は本能的に嫌がりますが、録音し何度も聞かせると慣れます。

(本資料は(独)農研機構、中央農業総合研究センター鳥獣害管理プロジェクトチームのホームページ

<http://www.naro.affrc.go.jp/org/narc/chougai/> で公開されている「鳥害研修配布用資料」および「鳥害をふせぐにはまず相手を知ろう」を参考に作成したものです。)